

統計スポットライト・シリーズ3

『P値—その正しい理解と適用』正誤表

柳川 堯 著

(初版第1刷)

	ページ	原文	訂正
1	まえがき iii	P 値<0.05 のとき… P 値≥0.05 のとき	P 値≤0.05 P 値>0.05
2	p.017, 下から 12 行	P 値<0.05 を基準とすると…	P 値≤0.05
3	p.021, 下から 6-7 行	P 値<0.05 のとき… P 値≥0.05 のとき	P 値≤0.05 P 値>0.05
4	p.042, 1-2 行	P 値≥0.05 のとき, 検討の対象 から外す. P 値<0.05 のとき…	P 値>0.05 のとき, 検討の対象 から外す. P 値≤0.05 のとき…
5	p.012, 脚注 1)	それぞれ n 人からなる 2 群の 患者をランダムに抽出して…	患者を n 人ずつからなる 2 群 にランダムに分け…
6	p.033, 5-7 行	ランダム化 2 群比較試験では 処置群とよばれる n 人の患者 と対照群とよばれる n 人の患 者を, すべての貧血症患者の 中からランダムに選択し…	ランダム化 2 群比較試験で は, 貧血症患者を 1/2 の確率 でランダムに処置群または 対照群に割り付け…
7	p.013, 下から 4 行	図 2.2 の曲線は, もし仮に評 価指標がバラツキのみに支配 されている, つまり「処置効果 がない」と想定した場合の…	図 2.2 の曲線は, もし仮に評 価指標がバラツキのみに支配 されていて「処置効果がない」 と想定した場合の…
8	p.026, 表 3.3 下から 4 行	50%点 0.095 0.046 0.009 0.001	50%点 0.095 0.046 0.005 0.001
9	p.033, 図 4.2		図 4.2 の横軸中央(縦軸つ交 わるころ)に $\Delta=0$ を加える (下図 4.2 修正を参照してくだ さい).
10	p.035, 4.1.3 冒頭	P 値は, 指標が偶然のバラツ キのみに支配されていると想 定して算出した. 偶然のバラ ツキのみに支配されていると	P 値は, 「処置の効果がない」 という仮定のもとで指標が偶 然のバラツキのみに支配され ていると想定して算出した.

		いうことは、いいかえれば、「処置の効果がない」ということである。	「処置の効果がない」ということは、いいかえれば、 $\Delta=0$ ということである。
11	p.039, 「・帰無仮説と対立仮説: その1」	P 値は、指標が偶然のバラツキのみに支配されていると想定して算出した。偶然のバラツキのみに支配されているということは、いいかえれば、「処置の効果がない」ということである。	P 値は、「処置の効果がない」という仮定のもとで指標が偶然のバラツキのみに支配されていると想定して算出した。「処置の効果がない」ということは、 $\Delta=0$ ということである。
12	p.039, 図 4.3	P 値の面積が左右で違っている。	左側の斜線の面積を右側の斜線の面積とおなじ大きさに修正(下図 4.3 修正を参照してください)。
13	p.056, 8-10 行	pre-post デザインは、処置効果に影響を与える可能性をもつ背景因子などの因子をランダム化せずに調整することができるデザインである。	pre-post デザインは、一見、処置効果に影響を与える可能性をもつ背景因子などの因子をランダム化せずに調整することができるようにみえるが、後に述べるように注意が必要である。
14	p.004, 下から4行目	対象軸が $x = \mu$, 対象軸から	対称軸が $x = \mu$, 対称軸から
15	p.019, 下から3行目 p.031, 下から5行目	Summary	Summary
16	p.029, 下から8行目	急性冠候群患者	急性冠症候群患者
17	p.042, 8 行目	標本数	サンプルサイズ
18	p.053, 6.2.1 から数えて下2行目	標本数	サンプルサイズ
19	p.085 表 8.1 試験 B の標準の行	B 標準 235 1,957 2,192 0.85, 0.096	B 標準 235 1,997 2,232 0.85, 0.096

図 4.2 修正

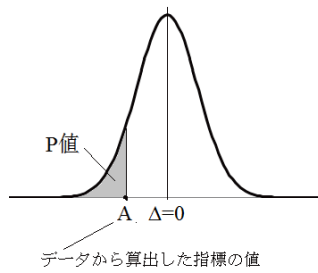
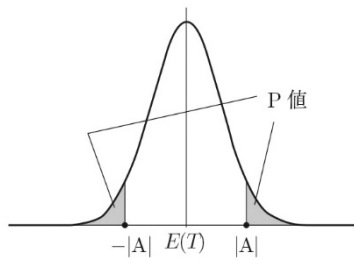


図 4.3 修正



(初版第 2 刷)

1	p.002, 上から 13 行目	Evidence Based	Evidence Based
2	p.113 参考文献 [3], 上から 7 行目, [4], 上から 10 行目	et. al.	et al.